

未来



全労協・郵政産業労働者
ユニオン長崎中郵支部
機関紙・「みらい」
NO. 4483
24年9月24日(火)
Tel・Fax 095-828-1953
文責 支部書記長

郵便料金値上げの他にも 重要な変更点が多数あり

おはようございます。

9月下旬になりました。来週からは10月に入りますが、郵便料金の値上げや、ゆうパックスの取扱い変更など郵便関係で制度変更があります。

郵便料金値上げ

10月1日から手紙やはがきの郵便料金が約3割値上げされます。はがきは63円から85円に、封書(25グラム以下の定形郵便)は84円から110円に引き上げられます。25グラム超50グラム以下の定形郵便は今の94円から25グラム以下と同じ110円になります。レターパックや速達、定形外郵便などの料金も引き上げられますが、第3種・第4種郵便物は据え置かれます。また新たに、松を描いた85円、千鳥の110

円に加え、はがきや封書の値上げ分の22円、26円切手などが発行されます。郵便はがきも新材料にあらわして刷新し、これまで使われてきた63円、84円、94円などの切手は9月末に販売を終了します。

2025年用年賀葉書も85円に値上がりし「年賀じまい」が更に加速することが予想されます。



ゆうパックスの配達

希望時間帯「20時～21時」の廃止

配達を担当する社員などの業務負担軽減のためとして、10月1日(火)以降、引き受けするゆうパックスの配達希望時間帯について「20時～21時」を廃止し、現在の7区分から6区分に変更になります。

配達時間帯のネットとなっていた「20時～21時」がようやく廃止となります。お客様からし

たら、サービスダウンとなるかもしれません。現場の社員は大歓迎です。

ゆうパックス配達証への署名押印省略の試行

配達証紛失による顧客情報漏えいの未然防止、オペレーション効率化による社員負担の軽減のためとして、ゆうパックスの配達証の見直しを検討され、10月1日より「配達証への署名押印の省略」が試行されます。

現行、指定場所への配達や非対面での受け取り以外は、配達時に荷受人の署名又は押印をもらって荷物をお渡ししてまいした。しかし今後は荷受人の署名又は押印が不要になり、正当な配達先であることを確認した後、荷物をお渡しすることになります。

署名押印などの証拠がないとなると、未受領申告の対応が心配になります。初期対応は現行と同様で追跡情報の確認、配達時の状況確認を行うとしていきます。ゆうパックスはゆうパケットと違い対面での配達なので、未

受領申告は少ないかもしれませんが、到着入力の際に調査で荷受人の署名又は押印が決め手となるケースもありました。調査に要する労力が増えないことを願います。

尚、ゆうパックス配達証への署名押印省略の対象外となるゆうパックスは着払い、代金引換、セキユリティ、隣家などなどの代人配達するゆうパックスです。

また、2025年度以降に配達証の廃止も検討されています。



ゆうパケットの到着入力力の廃止

ゆうパケットの取扱個数増加を踏まえた内務業務の負担軽減、効率的なオペレーション実現の為に「ゆうパケット及びクリックポスト」の配達局における到着入力作業を廃止するとなっています。

追跡サービスの現行の表示は、(例) A局引受↓B局到着↓受入(持出し中) ↓配達完了(お届け先に

お届け済み) となります。到着入力力の廃止によりB局到着が表示されなくなり、A局引受↓受入(持出し中) ↓配達完了(お届け先にお届け済み) となります。



万が一、配達担当者が受入力・配達入力をおぼれたうえに誤配したとします。この場合、引き受け局以外の情報が全くなく、長中局まで届いていたかさえ分からないという事態になります。

お客様にしてみれば荷物がどこにあるのかが分かりにくくなるだけでなく、紛失した場合の調査などが大変になります。メルカリなどの個人間の取引では特に追跡サービスを注視しています。今後はお客様からの問い合わせが多く寄せられるでしょう。不着などの対応マニュアルもあるようですが対応は困難が予想されます。現場の労力が減るのか疑問です。

仲間と競争せず、弱い立場の人と共に団結して闘おう。

期間雇用社員と希望者全員が正社員化を。

ゆげ、均等待遇、なげん差別。

ユニオンは労基法裁判に勝利した。

